

# 『アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）と利尿薬、非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）、プロトンポンプ阻害薬（PPI）併用時の腎機能低下に及ぼす影響に関する研究』

【目的】レニン・アンジオテンシン系阻害薬（renin angiotensin system inhibitor：RASI）、利尿薬、非ステロイド性抗炎症薬（non-steroidal anti-inflammatory drugs：NSAIDs）の 3 剤併用による急性腎障害のリスクが複数報告されており、これら 3 剤の併用は「Triple Whammy（三段攻撃）」と呼ばれています。また、近年承認されたアンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（angiotensin receptor neprilysin inhibitor：ARNI）は急性・慢性心不全診療ガイドラインにて RASI からの切り替えが Class I として推奨されており、その使用が増加しつつあります。しかし、ARNI、利尿薬、NSAIDs による triple whammy について調査された報告はほとんどされていません。さらに、様々な症例で併用されることの多いプロトンポンプ阻害薬（proton pump inhibitor：PPI）の長期的な使用は慢性腎臓病（chronic kidney disease：CKD）発症・進展のリスクとなることも報告されていますが、triple whammy に PPI が併用された場合の影響についても報告がないのが現状です。

そこで、本研究において ARNI を含めた利尿薬、NSAIDs、PPI 併用による腎機能評価を行い、CKD 発症のリスクを評価することは臨床的には極めて重要であると考えられます。

また、本研究は JCHO 近畿地区の各病院（大阪、大阪みなと中央、星ヶ丘医療センター、大和郡山、神戸中央、京都鞍馬口医療センター、滋賀）で、ARNI が処方・投薬された患者を対象に電子カルテより後方視的に調査を行い、ARNI、利尿薬、NSAIDs、PPI 併用による腎機能低下に及ぼす影響について検討します。

【期間】2024年4月1日～2028年3月31日

## 【方法】

＜対象となる患者さん＞

調査は 2020 年 9 月～2024 年 3 月までの経緯を検証しました。

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：診療録より過去にさかのぼり調査します。

## ◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 大和郡山病院  
〒639-1013 奈良県大和郡山市朝日町 1-62  
TEL (0743) 53-1111 (代)

所属・職名 薬剤部・薬剤師 \_\_\_\_\_  
研究責任者 植田 徹 \_\_\_\_\_